和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第28号
2021年3月8日

SG 課題研究Ⅱ　成果発表会
分科会（1）

２月４日(木)午後、２学年「総合的な探究の時間」で実施しているＳＧ課題研究Ⅱの探究成果発表分科会が行われました。

約８か月の間、各班が進めてきた探究活動をポスターに整理し、当日は同じ分野で活動する約40人が一同に会して相互発表を行いました。発表後は大学教授からそれぞれの班の取組について貴重な指導助言をいただくことができました。

地域文化
班別テーマ一覧

A01班　なんということでしょう！あなたの知らない神社があるんだよ
A02班　切目神社～道成寺と関連のある場所～
A03班　興国寺と白鬚神社について
A04班　和歌山県における過疎化地域の現状と対策
A05班　日高・御坊地方の祭り
A06班　イルカ漁について
A07班　茶粥を後世に
A08班　道成寺会式
A09班　道成寺と安珍清姫物語
A10班　道成寺と宮子姫伝説
B01班　紀州弁をカルタで学ぼう
B02班　伝統料理の工夫
B03班　祭りを広め、後世に残すために
B04班　紀州鉄道を盛り上げよう

地域文化分科会　全体報告

研究テーマ設定当初は、先輩たちのようにポスター発表まで本当に漕ぎつけられるのだろうかと不安げだった生徒たちも、約半年間、各班で協力し合って研究を進めてきた結果、無事学習成果を発表することができた。

ポスター作成においては見やすさやインパクトを重視し、発表ではできるだけわかりやすいプレゼンを心がけるなど、各班に工夫の見られる発表となった。

講評時、近畿大学国際学部の矢澤教授からは、コロナ禍による制約があるにも関わらず、各班がこれまでに無いバリエーションのある発表をしており、新しい発見もあって非常に面白かったという賛辞をいただいた。また今後更に研究を進めて行くにあたっては、日常にこそ新しい発見が転がっており、それを見いだす力をつけることが大切であること、安珍清姫のような古い話も若者の斬新な視点で再解釈すると面白くなること、そして何事も一人で行動するのではなく他の人を巻き込む力が何かをクリエイトする力につながることなど、示唆に富む助言をいただいた。

また、本校SGH海外交流アドバイザー吉田恭先生からは、今後人前で発表をする際は、身振り手振りも交えながら堂々と発表し、いかにして聴衆の関心を引き込むかということを大切にすれば、海外でも通用する質の高いプレゼンになること、そして日々の生活の中で「なぜそうなる？」の発想を常に持つことが意外性のある魅力的な研究につながるとのアドバイスをいただくことができた。